

平成19年度 予算編成方針

市の平成19年度予算編成について、市長から各所属に対し、次のような方針が出されました。

本市の財政状況は、国の三位一体改革の影響による一般財源の減少により、歳入の確保に苦慮しているところである。

他方、歳出では、時代の変化に即した少子高齢対策をはじめ、市民の安心・安全なまちづくりに欠かせない水害対策事業や、公共建築物耐震化事業、道路新設改良事業等の都市基盤整備など取り組むべき課題は山積しており、これらの事業展開には多額な資金需要が見込まれている。

また、平成17年度決算における実質単年度収支は、マイナス約二億二千万円と2年連続の赤字であり、大規模な整備などの継続事業を行わない通常の財政運営での連続赤字は深刻な状況である。

さらに、人件費をはじめ、扶助費、公共施設に係る維持管理経費など、經常経費の予算総額に占める割合は依然

として高く、平成17年度決算の經常収支比率は、89・1%であり、前年度に比較して0・6ポイントの改善はみられるものの、依然として高率を示していることから財政構造の硬直化が懸念されており、財政運営の健全性や弾力性の保持を図ることが当面の課題となっている。

平成18年度当初予算においては、約十五億円の財源不足を都市計画税の税率の見直しや、国民健康保険税さらには下水道使用料などの改定を行い、市民に負担増をお願いするとともに、職員の間末勤勉手当を20%カットするなど人件費を削減することによって、予算の編成をしたところである。

このままの傾向で推移すると平成19年度も同様の財源不足が見込まれ、基金での対応にも限界があるため、歳入の確保及び行政経費の削減が喫緊の課題となっている。

国においても、平成19年度予算編成に対する基本的な方針「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2006」（平成18年7月7日閣議決定）では、地方財政については、平成19年度の地方財政計画について、所要の地方財政措置を講ずるに当たり、国の歳出の徹底した見直しと歩調を合わせつつ、地方公共団体の自助努力を促していくことを進め、地方公務員人件費や地方単独事業等の徹底した見直しを行うことにより、地方財政計画の歳出規模を引き続き抑制するとしている。

また、北海道夕張市では、財政悪化が進み事実上の破綻状態となり、全国で14年ぶりの財政再建団体の指定申請を行った。これを受け総務省では、新たに自治体の財政破綻を未然に防ぎ、破綻になれば第三者が管財人として大胆に歳出にメスを入れる破綻法制の具体的な検討に入っている。

さらに、人口と面積を基本として策定する「新型交付税」の導入も検討されるなど、地方交付税の改革の議論は続いており、来年度の歳入を適正に見込むことは、非常に難しい状況にある。こうした中でも「安心・安全で、夢のある、明るい志木市」を実現させるためには、今後とも施策・事業の選択と集中をこれまで以上に徹底させた上で、重点的に取り組むべき施策を着実にかつ計画的に推進していかなければなら

らない。

そのため、平成19年度予算編成に当たっては、「志木市行財政再生プラン」を核として着実に推進し、予算に反映させるとともに、極めて厳しい財政状況におかれていることを全職員が十分認識して予算編成に取り組むこととしたので、志木市予算規則第5条の規定に基づき、通知する。

◇基本方針

市民にとって真に必要な行政サービスを限られた財源の中で実現するため、「志木市行財政再生プランの進捗状況を踏まえながら徹底した行財政改革」と「施策の重点化」を行い、財政基盤の充実、強化を図る。

また、多様化する市民ニーズに的確に対応するため、各部において主体的にこれまでの決算や成果を評価し、緊急度・優先度に基づく事業の厳しい選択を行い、施策の重点化の徹底を図ることとする。

「安心・安全で、夢のある明るい志木市」の
実現に向けた平成19年度予算

徹底した行財政改革
&
施策の重点化

水害対策事業

- 台風などによる水害を軽減・防止し、市民生活の安心・安全を確保する
- ・平成19年度 田子山地区浸水対策事業
- ・平成18年度 郷土排水機場のポンプ増設事業完了（政策マニフェスト）

公共建築物耐震化事業

- 児童・生徒が安全で快適な学校生活を送れるよう耐震補強工事を中心に学校施設などの整備充実を図る。耐震化基金の有効活用による計画的な耐震化の実施
- ・平成19年度 宗岡小学校東・西校舎耐震補強工事
- ・平成18年度 志木第三小学校渡り廊下建替事業完了
- 安心・安全の街づくりを実現するため、避難場所にもなっている小学校体育館の耐震補強工事を全て完了する。
- ・平成19年度 宗岡第三小学校体育館耐震補強工事
- ↓ ↓
- 平成19年度で小学校体育館の耐震補強工事を全て完了（政策マニフェスト）
- ・平成18年度 志木第三小学校及び宗岡小学校体育館の耐震補強工事完了

自主防犯組織と連携・支援事業

- 犯罪の起こりにくい地域社会を実現するための地域における自主防犯組織設立支援（政策マニフェスト）
- ・平成19年度 自主防犯組織 全町内会での発足をめざす
- ・平成18年度 自主防犯組織 36町内会中、35町内会で発足
- 防犯活動の活性化と定着化を図るため、市民や事業者などの参画を促進し、連携と協働に基づく地域力の高揚を図る

心豊かな人と文化を育むまちづくり

- 子どもたちが社会の変化に対応できるように、基礎学力と基礎体力を身につけ、健やかで心豊かに成長できる児童、生徒の育成をめざした教育の充実
- ・平成19年度 IT社会に向けた情報教育の充実

高齢者福祉事業・子育て支援事業

- 《高齢者福祉事業》
- 高齢者が住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう介護予防・健康づくり、地域ケア体制の充実を図る（政策マニフェスト）
- ・平成19年度 介護予防を重視し、健康体操の展開など、地域に密着したサービスを推進する
- ・平成18年度 地域包括支援センター2か所を開設
- 《子育て支援事業》
- 児童虐待ゼロをめざす子育て支援策を推進する（政策マニフェスト）
- ・平成19年度 平成18年3月に設置した「志木市要保護児童対策地域協議会」のネットワークの充実を図り、地域全体で子どもを見守る体制を強化する
- 待機児童ゼロをめざす（政策マニフェスト）
- ・平成19年度 保育施設の有効活用を図り、待機児童ゼロをめざす
- ・平成18年度 西原保育園移転工事完了、併せて西原子育て支援センター設置

生活道路整備事業

- 道路新設改良や計画的な維持補修による整備事業
- 市道の適正な維持管理
- 地域の実情に応じた改良及び整備の推進
- ↓ ↓
- 歩車道分離事業（安心・安全事業）の計画的実行

市民サービスの向上と迅速化

- 行政運営の効率化
- ・ITを活用した行政運営など事務事業の改善・効率化のため基幹系システムの更新